令和６年度

事　業　計　画　書

社会福祉法人　山王平成会

目次

法　人　本　部 …… 1

ごしょの保育園 …… 4

かわしり保育園 …… 12

阿久和保育園 …… 18

西 柴 保 育 園 …… 24

上永谷西保育園 …… 31

阿久和キッズ …… 37

令和 6 年 1 月 17 日

令和 6 年度
社会福祉法人 山王平成会
法人本部 事業計画

1．基本方針

令和 5 年度における保育園運営は、コロナ禍後も職員の皆様が慎重かつ精力的に取り組んで頂いたおかげで、大きな事故、怪我等もなく、年度末を迎えることができた。

これもひとえに、職員の皆様が法人理念、保育理念に忠実に則り、職員間で報連相を十分にとり、主体的に考え行動して頂いた成果だと実感している。

皆様におかれましては、改めて心より感謝申し上げます。

現状の保育業界の動向としては、想定以上に秋田地区、横浜地区共に少子化、担い手不足が加速化している。この少子化、担い手不足の問題は、私たちには変えられない事実であり、法人本部としては変えられる事実に焦点を充て積極的にゼロベースの視点で改革を進める。

今後の社会情勢に対し決してネガティブには捉えておらず、ピンチはチャンスの精神で足元を固めつつ、並行して中長期的な視点も踏まえ皆様と共に効果的な施策打ち出し課題解決していく覚悟である。

令和 6 年度は、計画的に法人主催の研修会を実施し人財育成にも注力する。

また、令和 7 年度に人事評価制度導入に向けた説明会を各園で実施していく。

令和 6 年度の取り組みの詳細については、下記の重点施策に記載した通りである。

＜第二種社会福祉事業＞

・保育事業　　・小規模保育事業　・延長保育事業
・一時預かり事業　・病児保育事業　　・地域子育て支援事業

＜各保育園の定員及び職員数（令和 6 年 4 月 1 日見込み）＞

保育園名	定員	職員
ごしょの保育園	160 名	46 名
かわしり保育園	60 名	24 名
阿久和保育園	80 名	32 名
西柴保育園	60 名	27 名
上永谷西保育園	80 名	31 名
阿久和キッズ	19 名	12 名
合計	459 名	172 名

2. 重点施策

（1）ネクストステージに向けた取り組み

法人本部としては、改めて緊急度、重要度の法則、パレートの法則(優先順位 20%を実行することで、成果の 80%を生み出すことができる)の考えのもと、下記事項に注力する。

1）理念経営の浸透

改めて今までの保育園運営を振り返り、令和 5 年度に法人理念、保育理念の見直しを図った。その背景については、法人本部から各園の各種打ち合わせなどを通じ説明を行う。並行して、職場でも各種会議前に職員間で読み合わせを継続的に行い、理念浸透の周知を図る。

その狙いは、子どもの最善の利益の追求に向け、同じ方向性をもち職員が一体となり、子育てに関わる全ての方々を幸せにすることにある。

2）人事評価制度導入に向けた説明会の実施

法人理念、保育理念をもとに、令和 5 年度に園長、事務長、主任、リーダークラスの職員と数回にわたり打合せを重ね、キャリアパス、ジョブマトリックス、自己評価表の更新を行った。

これらを活用し、人財育成を目的とした人事評価制度導入に向けた準備を進める。具体的には、人事評価制度を導入する目的について重点的に説明を行い、職員が順序立てて理解しやすい説明会を考えている。

各職員が将来的なビジョンをイメージしやすい制度を構築し、成長する喜び、職員間のチームワーク強化等につなげていく。

個々の成長によって自己肯定感の向上を実感して頂き、その結果として組織の活性化、成長にもつなげていきたい。

3）教育機会の充実化

①法人主催の研修会を確立

・人事評価研修会(3 回 1 セットを 1 回／年)
・コミュニケーション研修会(4 回／年：入門編、発展編、応用編)
・保育業界におけるメンタルヘルス研修会(1 回／年)
・木育ひろばの開催(2 回／年)
・財務管理に関する勉強会(4 回／年程度)

②ｅラーニング導入後の効果的な運用(横浜地区)

・個々の成長を促す学習教材として活用
・職場勉強会の教材としても活用

（2）加速化する少子化に対する各種打開策

1）秋田地区保育園の持続的な運営に向けた財務改善と速やかな実行

過去数年間の秋田市の出生数を見ると以下の通りとなり少子化は止まる気配がみられない。むしろコロナ禍を経て加速しているように感じる。

・平成 29 年：2,007 人（前年比▲91 人）
・平成 30 年：1,916 人（前年比▲158 人）
・令和元年：1,803 人（前年比▲113 人）
・令和 2 年：1,767 人（前年比▲36 人）
・令和 3 年：1,746 人（前年比▲21 人）
・令和 4 年：1,588 人（前年比▲158 人）

秋田地区にて持続的な運営を行うためには（少子化や長期間の産後育休の定着に伴い）減少する収入に対して適正な人員配置にすることが非常に重要になる。そのための大きな課題解決をごしょの保育園、かわしり保育園双方を鑑みながら実施していくためのスタートの年とする。

①職員数の適正化（人事異動、採用見直し）
②保育業務の見直し（各園における業務改善プロジェクトの実施）
③ごしょの保育園の定員減（140 名で検討）に向けた取り組み

2）横浜地区の園運営の安定化と財政支援

前年度の課題であった職員採用は進み、各園定員通りもしくはそれ以上を見込める状況にある。ただし、職員採用に係る費用については前年度を超えているため、今後は離職率を下げ、職員の定着を維持していくことが大きな課題となる。

人財の確保　⇒　人財育成　⇒　定着率向上　⇒保育の質の向上
の流れを作っていきたい。

この課題をクリアすることで安定した財務体制を築き、並行してかわしり保育園の大規模改修工事も支援していく。

横浜地区での実績（西柴保育園、上永谷西保育園の園舎建替え）で得た知識、経験を踏まえ、下記事項を中心に支援していく。

① 財務管理の企画検討及び、支援（補助金の受給、設計、施工に係る費用、それ以外に必要となる項目の支援）
② プロジェクト完遂に向けた工程管理のタイムマネジメント
③ 横浜地区における各園の財務状況を常に注視した上で大規模改修工事に必要となる財務管理の支援に貢献

以上

令和 6 年 1 月 17 日

令和６年度
ごしょの保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・病児保育（体調不良児対応型）事業
   ・障害児保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

【保育園をめぐる状況】

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行された昨年 5 月 8 日以降、地域社会の活動は徐々にコロナ禍前の活気を取り戻しつつある。地域に根差し愛される保育園づくりを目指している本園にとっても、地域との絆をさらに強くする絶好の機会であると捉えている。地域団体や教育施設、障害児入所施設、高齢者福祉施設、地域交流センター等との連携や交流を積極的に進め、地域に開かれた保育園となれるよう努力していきたい。

設備及び備品に関しては、開園から 23 年以上が経過していることもあり、故障や経年劣化が多く見られるようになってきている。メンテナンスや交換、修繕等を計画的に行っていきたい。

また、定員 160 名に対して 156 名の子どもたちが在園する予定である。昨年度に引き続き、職員間で話し合いながら、保育環境、教材整備、そして業務改善にも取り組み、子どもにとってより楽しく充実した生活となるよう園運営を推進していきたい。

全国的には、認可保育園や認定こども園等における不適切保育が報道されるなど、保育に対する社会や保護者の目は厳しさを増してきている。幸いなことに、本園はこれまで園児に大きな事故や怪我はなく、保護者の協力も得ながら円滑に保育活動を進めることができている。今年度も、これまで以上に質の高い保育を追究しながら、一貫して子どもの主体性を尊重したチーム保育を進めることに努め、子どもたちの健やかな成長につなげていきたいと考えている。

【基本方針】

「子どもの最善の利益を第一に、個性を育み、自己肯定感が高まる保育を目指すこと」「家庭や地域と連携し、地域社会に根差した保育を展開すること」を保育理念とし、子どもたちが「愛されている、受け入れられている」という心地よさを感じながら、仲間とともに生きる力の基礎となる、「生活する力」「遊ぶ力」「考える力」「楽しむ力」を身に付けることができるよう、子どもの成長を支えていきたい。

3. 重点施策

（1）子どもの主体性を尊重した保育の充実を図る

子ども一人一人の思いに寄り添い、子どもたちができる限り自己決定して行動できるような援助を行うことによって、子どもたちの主体性をはぐくんでいきたい。日常の保育はもちろん、リズム遊びや運動会、発表会などの行事の際には、その機会を生かし、特に積極的に子どもたちの思いを生かした取り組みを進めていきたい。

（2）地域とのかかわりを大切にした保育を展開する

新型コロナウイルス感染症が５類に移行された昨年５月以降、徐々に地域の活動が活発化してきている。本園に対しても、交流の依頼や行事等への参加要請が寄せられ始めている。子どもたちにとって、地域の方々との触れ合いは「地域の方々に見守られている、支えられている、愛されている。」と実感できる貴重な機会であり、自己有用感や自己肯定感を高める場ともなっている。今年度はより積極的に地域とのかかわりを求め、地域とともに歩む園運営を進めていきたい。

（3）業務改善を進め、よりよい職場環境づくりを進める

職員が、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えることに誇りをもち、やりがいを感じながら働くことができるように、今年度も以下のように業務改善に取り組んでいく。

・おが～るシステムの活用やNASでのデータ管理を着実に進めていく。
・理事長に指導のもと業務改善プロジェクトを立ち上げ取り組んでいく。
・のりしろをつけた仕事と協働の意識を常に心がけ、チーム保育の質の向上を図る。

4. 施設整備及び備品等購入計画

（1）施設整備（10万円以上を対象）

案件名	時期(予定)	工事・設置金額	理由
園庭の日よけ対策	6月	100,000円	遮光ネット設置、撤去工事
空調設備の修繕	6月	1,483,000円	本館二階エアコンの暖房機能の追加及び新館エアコン冷房能力向上のため

（2）備品購入計画（1品または纏めて10万円以上を対象）

備品名	時期(予定)	単価	数量	金額	理由
避難車（０～１歳児）	9月	100,000円	2	200,000円	園児数に対して避難車が不足しているため

5. 部門別保育年度達成目標

（1）乳児保育部門

0 歳児

・保育者の愛情のもと、一人ひとりの生理的・心理的欲求が満たされ、安定した生活を送る。

1 歳児

・保育者に見守られながら、身近な人や物に興味をもち関わりを広げる。

・身の周りの簡単なことに対して、自分でやろうとする気持ちをもつ。

2 歳児

・保育者の見守りや励ましのもとで、自分でやろうとする気持ちをもって物事に取り組み、様々な経験を積む事で基本的な身の周りのことが身に付くように支援する。

・様々な運動遊びに取り組む事で、基本的な体の運動能力を伸ばし、自ら体を動かすことを好むようになる。

（2）幼児保育部門

3 歳児

・遊びや生活の中で他者の存在に気づき、共に過ごすことの楽しさを感じたり、関係を深めたりする。

・園生活の流れが分かり、身の回りのことを自ら行い、決まりを守って過ごそうとする。

4 歳児

・自分の健康に関心をもち、身の周りを清潔にすることの心地よさに気付く。

・様々なことに興味や関心をもち、友達との関わりを楽しみながら自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付たりできるようにする。

5 歳児

・友達と意見を出し合い、心を通わせながら自分たちなりの遊びを生み出したり、目標に向かって力を発揮したりする。

・一人ひとりが主体性をもち、遊びや社会生活において必要な事柄や態度を身に付ける。

（3）給食部門

・子どもにとってより安全で安心な給食の提供の実現のため、衛生管理の徹底と衛生マニュアルを遵守した作業の継続に努める。

・食物アレルギー対応をしっかり行うとともに、食事提供の原則をして「組織的対応、完全除去、安全配慮」を実践し、「誤食の防止」を職員全体で周知徹底する。

・発達段階や個々の興味や関心に応じた食育が活動が行えるよう、年間食育計画の工夫・　改善を図る。

・複数人いる栄養士の長所を生かした献立になるよう、季節の食材、郷土食、行事食等、工夫をこらして取り組むようにする。

・離乳食の進行に応じて保護者との連携を深め、0 歳児からの食事に関わり、安心感を与えるような保護者支援をする。

（4）子育て支援部門

保育所を利用している保護者に対する子育て支援

・保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるよう、信頼関係を一層深めるように努める。その際は、保護者のそれぞれの置かれた状況に職員全員で配慮する。

・懇談会や面談等を通して、子育てに悩んだり、不安を感じたりする保護者同士が情報交換したり、保育者と相談する機会をできるだけ多く設定する。

地域の保護者等に対する子育て支援

・未就園児を対象に地域の交流センターで行っている子育て支援活動では、現状に満足せず、
その意図を全職員が理解し、保育所保育の専門性を活かした子育て支援ができるよう一層努めていく。（リズム、ベビーマッサージ、簡単な制作等）

・給食試食会や園見学などについて、実施時期や方法について検討していく。

（５）地域交流部門

近隣の中学校・高校との交流

・可能な範囲で行事を通しての交流や要望に積極的に応じ、職場体験やボランティア等の受　け入れを行っていく。また、リズムあそび発表会など相手施設を活用しての活動にも積極的に取り組む。

地域の福祉施設（シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）との交流

・様々な感染症の状況を把握しつつ、可能な範囲で積極的に交流を行っていく。訪問等が難しい場合でも、手紙や動画等で子どもの姿や園での活動を知ってもらえるような取り組みを工夫する。

（６）姉妹園交流部門（かわしり保育園）

・行事を通しての交流（野菜の苗植えや収穫活動、竿燈壮行会への参加等）

・給食会議での交流、職員同士での意見交換の継続

・保育、衛生（看護）会議での交流、相互の意見交換を深める

・職員の派遣による交流（休日保育、竿燈行事への協力）

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和６年４月１日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	令和 5 年度継続児	令和 6 年度新入児	合計
0 歳児	3	18	21
1 歳児	24	2	26
2 歳児	26	1	27
3 歳児	27	0	27
4 歳児	27	0	27
5 歳児	28	0	28
合計	135	21	156

※「令和 6 年度新入児」は、市役所からの通知（12 月 4 日現在の申込数）による

(2) 職員数(令和６年４月１日の見込み数)

（単位：人）

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	顧問	合計
正職員	1	20	0	4	0	0	1	0	26
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	1	0	1
パート職員	0	14	2	0	1	1	0	0	18
障がい者人財	0	0	0	0	0	1	0	0	1

7. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入日	進級園児・新入園児を職員全員で受け入れる。
	おおきくなったね、おめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	保育園懇談会・ごしょの会総会	保育園や保護者会の昨年度の活動内容報告や今年度の方針について話し合う。
5	こいのぼり集会	みんなで端午の節句をお祝いする。
	内科健診	園医の千葉先生による健診を行う。
6	保育参観・参加	お子さんと一緒に保育園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。
	歯科健診	園医の平塚先生による健診を行う。
7	お泊り保育	年長児が保育園で一泊する。
	七夕集会	子どもたちのお願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。
	夏まつりごっこ	園児と職員で、夏まつりごっこを楽しむ。
	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園園児を応援する。
9	運動会	御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びやリレーなどをして楽しむ。
	自由保育参観・参加週間	保護者の方にも積極的に保育に参加してもらう。
10	遠足	学年ごとに園バスに乗って出かける。
	内科健診	園医の千葉先生による健診を行う。
	給食展示会	給食の実物を展示して紹介する。
11	親子お楽しみ会（１，２歳児クラス）	園児と保護者が一緒になって、体を動かしたり、読み聞かせを聞いたりして楽しむ。
12	発表会（3 歳児～5 歳児）	普段の保育園生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサの会場で発表する。
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いする。
	親子お楽しみ会（０歳児クラス）	園児と保護者が一緒になって、体を動かしたり、読み聞かせを聞いたりして楽しむ。
2	節分集会	みんなで集会をして節分についての由来を知る。
	年長保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。懇談会では、卒園を前にこれまでの園生活を振り返り、成長を喜び合う。
3	ひなまつり会	みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いをする。
	ばらくみさんありがとうの会	年長組の子ども達へ感謝の気持ちを込めて、在園児がプレゼントを渡したり、おやつパーティーをしたりして楽しむ。
	卒園式	ごしょの保育園のホールで、年長児（ばらくみ）の卒園をお祝いする。
毎月	避難訓練（不審者訓練含む）・誕生会・リズムあそび	
年１回	各クラス懇談会・個人面談（実施時期は各クラス毎に異なる）	

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
申し送り	１日２回
職員会議	月１回
給食会議	月１回
担任クラス会	月１回以上
クラス会 （園長・主任・副主任・担任・補助保育士参加）	月１回
乳児会議（０～２歳児チーフ）	年４回
園長・主任・副主任会議	案件がある場合に随時
ケース会議	案件がある場合に随時
チーフ会	案件がある場合に随時

9．研修計画

【園内研修・研究】

クラスごとに取り組みたいテーマを決め、チームで研究に取り組む

・「子どもの主体性を尊重した保育の充実を図る」という園全体の研究テーマのもと、「チーム保育を推進する」という観点から、それぞれのクラスごとに研究テーマを設定して取り組んでいく。資料作りや公開保育、協議会を協力して行うことにより、チームとしての意識向上や協働意識、PDCA サイクルの活用による保育の力量向上を求めていく。

若手職員の育成

・園内研究の１つとして、保育に関する知識や考えを深めることができるようなテーマを設け（絵本の読み聞かせ等)、若手職員個人でその資料作りや発表等を行う。

・若手職員に対し、社会人、保育士、法人職員としての心得やマナー等の社会人指導を行う。

【園外研修】

＊この他、各職員の年度目標と照らし合わせながら､随時研修の申し込みをする予定。

＊表記以外にも処遇改善Ⅱ対象の研修案内が入るので、積極的に参加をする予定。

月	通常の研修名 （右記以外の研修名）	処遇改善Ⅱ対象の研修名	内容
4	秋田市地区保育士会総会		保育士会活動内容の報告、予算案の承認、講演会。
	施設長会		市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	園長等運営管理協議会		秋田県就学前教育における年度の重点等の伝達等。
	幹事会		保育士会で行う学習会等の企画、運営等。
	研究部会		保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。
		新規採用者研修Ⅰ	
5	施設長会		
	給食担当者部会		市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会を行う。

	主任保育士部会		市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会を行う。
	研究部会		
	保健部会		保健担当の職員（看護師等）が集まり、情報交換、勉強会を行う。
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
		教頭・主任等研修会Ⅰ	市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修、情報交換等。
		新規採用者研修Ⅱ	
		園内研修リーダー養成講座（応用編）	園内研修の進め方について、考えを深め自園の研修に活かす。
6	施設長会		
	主任保育士部会		
	調理員部会		市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会を行う。
	幹事会		
	研究部会		
		新規採用者研修Ⅲ	
		５年経験者研修Ⅰ	
		中堅保育者資質向上研修Ⅰ	10 年以上の経験者を対象
		保育実践力向上研修Ⅰ	３年以上の経験者を対象
7	施設長会		
	主任保育士部会		
	研究部会		
	保健部会		
	給食担当者部会		
	前期南部地区幼保小連絡協議会		地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。
		新規採用者研修Ⅳ	
		特別支援教育担当者研修会	
		中堅保育者資質向上研修Ⅱ	
		就学前・小学校地区別合同研修会	年長児担当者と１年生担当者を対象にした研修。
8	施設長会		
	主任保育士部会		
	研究部会		
		５年経験者研修Ⅱ	
		中堅保育者資質向上研修Ⅲ	
		乳幼児保育研修会	
		保健衛生研修会	
9	施設長会		
	給食担当者部会		
		新規採用者研修Ⅴ	
		中堅保育者資質向上研修Ⅳ	
10	施設長会		
	幹事会		
	研究部会		
	給食担当者部会		
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		
	秋田市地域子育て支援ネットワーク研修会		子育て支援担当者が集まり、子育てに関する研修会を行う。
	施設交流		他園にて１日保育に参加。

	かわしり保育園運動会		姉妹園の運動会の様子を見学。
		保育実践力向上研修Ⅱ	
		マネジメント研修会	ミドルリーダー職員を対象
		中堅保育者資質向上研修Ⅴ	
		秋田県保育士会研修会	
11	施設長会		
	主任保育士部会		
	研究部会		
	給食担当者部会		
	後期南部地区幼保小連絡協議会		
		教頭・主任等研修会Ⅱ	
		新規採用者研修Ⅵ	
		5年経験者研修Ⅲ	
		中堅保育者資質向上研修Ⅵ	
		園内研修リーダー養成講座（応用編）	
12	施設長会		
	かわしり保育園発表会		姉妹園の発表会やおたのしみ会の様子を見学する。
1	施設長会		
	給食担当者部会		
	研究部会		
		新規採用者研修Ⅶ	
		中堅保育者資質向上研修Ⅶ	
2	施設長会		
	主任保育士部会		
	幹事会		
	研究部会		
	保健部会		
	給食担当者部会		
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		
3	施設長会		
	かわしり・阿久和・西柴保育園・阿久和キッズ卒園式		姉妹園の卒園式に祝詞を送る。

以上

令和６年１月１７日

令和６年度
かわしり保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・障害児保育事業
   ・休日保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

〇令和６年度４月１日現在のスタートは、園児数５４人と想定しており、減少傾向が顕著である。他園の状況を見ても、０歳児、１歳児クラスの待機待ち状況は、ほとんど見られない状況となっている。秋田市においても、少子化や保育園の統廃合の波が予想以上に進展していることがうかがわれる。したがって、これからは、子どもを預けたい保育園としてのアピールポイントを鮮明にしていく必要があると考えている。全職員で全園児に関わり丁寧な保育を行うことの継続や広報活動の充実、昨年度から再開した秋田市竿燈本番参加、地域や保護者との交流行事の充実など、子どもや保護者にとって魅力的な園になれるよう、存在感を高めていきたい。

〇園舎の大規模改修に向けてのスケジュールも見えてきている。今年度は年度当初の補助金申請に始まり、仮園舎や改修園舎設計の具体化、備品の絞り込み、必要な設備など法人・園・設計者等と連携しながら、より良い方向に煮詰めていきたい。また、地域や保護者への改修に関わる周知の仕方､説明会の計画も進めたい｡職員の声も計画的に吸い上げ、職員皆で関わり実現に向かおうという意識を継続していきたい。

＜基本方針＞
法人理念・保育理念・かわしり保育園の保育目標を基に、子ども一人ひとりに寄り添った保育を進めていく。子どもや職員が「安全・安心」に過ごせるよう、保護者や地域等と連携をとりながら、子どもの最善の利益を第一にした、バランスの取れた保育・園運営に努めていく。

3. 重点施策

(1) 園舎大規模改修の具現化

保護者アンケート等にも、老朽化してきている園舎の課題を指摘する声が出てきている。職員からも新園舎に求めたい設備や備品等の集約が進み、準備は順調に整ってきている感がある。何よりも資金計画も含め、法人をあげてバックアップ体制を進めてくれることが心強い。園としての補助金に関わるプレゼンテーションや各方面への説明会等が予想されているので、これまでの横浜姉妹園の例を参考にして、今年度中の準備を計画的に進めたいと考えている。

(2) ＩＣＴの活用と業務の効率化の推進

昨年度の「おが～るシステム」の試行段階から、本年度は園児・職員の登降園管理の本格的な運用等、園児管理・職員管理・施設管理等、多岐にわたる分野でＩＣＴの有効活用をして業務の効率化を随時進めていく予定である。園だよりやクラス通信など、ペーパーレス化も積極的に進める。また、本システムを活用した集金から口座引き落としにすることについても、いつから実現可能か検討したい。

(3) 働きがいのある温かい職場作り

勤務形態や職種にかかわらず、全職員で全園児と関わり育てていくという、これまでの、かわしり保育園の基本方針を貫いていく。そして、秋田を牽引していく子どもたちを育てているという自覚と責任を職員と共にもちたい。過去の経験やこれまでのやり方に固執することなく、互いに智恵を出し合い、子どもにとって何が有益か考える、そんな切磋琢磨する職員集団を目指している。私たちは、立場や家庭状況など様々な状況を抱えている。職場での円滑な関係づくりのためには、互いを慮り思いやりをもって接することが求められる。温かい人間関係を構築していきたい。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備（１０万円以上を対象）

案件名	時期（予定）	工事・設置金額	理由
大規模改修工事申請に伴う設計業務	5月	見積依頼中	大規模修繕工事に向けての準備
地盤調査	5月	100,000円	大規模修繕工事に向けての準備
保育室等の不具合箇所の修繕等	5月	108,000円	保育室不具合箇所の修繕

(2) 備品購入計画（一品または纏めて１０万円以上を対象）

備品名	時期（予定）	単価	数量	金額	理由
カメラ２台と ＳＤカードの補充	5月	105,000 円	一式	105,000 円	不足分の補充

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

０乳児：・保育者と温かい関わりの中で信頼関係を築く。
・衛生的で安全な環境の下で、生命の保持・情緒の安定を図る。
・安心できる人的・物的環境で、聞く・見る・触れるなどの経験を通し、身のまわりに対する興味や関心が芽生える。
・離乳食や歩行、発語の意欲へ向けて段階的な発達をする。

1歳児：・情緒が安定し、身の回りのことに興味を持つ。
・探索活動を通して、自由に体を動かすことを楽しむ。
・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
・少しずつ言葉を覚え、自分の欲求や気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。

2歳児：・自分の思いや要求を表し、安心して過ごす。
・生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
・言葉のやり取りや表現する楽しさを味わう。

(2) 幼児保育部門

3歳児：・生活の仕方がわかり、自分で身のまわりのことをしようとする。
・体を十分に動かして、様々な動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう。
・保育者や友だちと親しみ、心地よさを味わう。
・自分の要求や感じたことを自分なりの方法で表現する。

4歳児：・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
・日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
・いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友達との関わりを広げる。
・身近な事象に興味をもち、遊びや生活に取り入れる。
・自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、友達と一緒に遊ぶ。

5歳児：・集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培う。
・疑問や発見などによる事物への関心を深める。
・物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
・相手の気持ちを考え、認め合いながら遊ぼうとする。

(3) 給食部門

・「安定した給食」や「安心・安全な給食」の提供のため、厨房職員が率先して健康管理、衛生管理を徹底していく。
・給食を通して、子ども達が旬の食材や味覚に触れ、食体験の機会を増やす。
・年齢に合った食材の固さ、形態、嗜好等、その都度給食職員、保育士で話し合い連携していく。

(4) 地域交流部門

・職場体験やボランティアの受け入れ、また、近隣の小学校との交流を少しずつ再開する。
・安全に竿燈祭りに参加し、郷土のまつりにふれることを楽しむ。
・ごしょの保育園や山王幼稚園とは御山野楽校で一緒になる機会が多いため、これまで以上に、一緒に遊んだり関わりをもてるように充実を図る。

(5) 子育て支援部門

・年２回の個人面談は継続していく。日頃から子どもの様子を伝え合うことで、家庭との連携や信頼関係を今後もつくっていく。
・園開放行事について、「地域の就学前の親子が楽しんで遊べる場」「子育ての話が気軽にできる交流の場」「かわしり保育園（の保育）を知ってもらえる場」…となるように様々な企画をしていく。
・入園予定の子どもには、４月の時点で園開放予定の通知を送り、園と関わる機会、話を聞く機会を積極的に設ける。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	1	1	2
1 歳児	9	1	１０
2 歳児	１２	0	１２
3 歳児	9	0	9
4 歳児	１２	0	１２
5 歳児	9	0	9
合計	５２	2	５４

(2) 職員数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	１１	0	2	0	1	0	１５
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	6	0	0	1	0	1	8
シルバー人材	0	0	1	0	0	0	0	1

7. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
5	以上児親子遠足	親子で遠足を楽しみます。
	内科健診①	嘱託医が園児の健康診断を行います。
6	歯科健診	嘱託歯科医が園児の歯科健診を行います。
	清掃日	保護者と一緒に園内外を掃除します。
7	七夕集会	みんなで七夕を楽しみます。
8	秋田市竿燈まつり参加（ぞうくみ）	竿燈に卒園児と年長児が参加します。
	個人面談	お家の方と面談をします。（全園児）
9	運動会	運動会に参加します。
	お泊り会	年長児がお泊り会に参加します。
10	自由保育参観・参加週間	子どもたちの普段の様子をお家の方に見てもらう。
	内科健診②	嘱託医が園児の健康診断をします。
12	お楽しみ発表会	発表会を楽しみます。
	個人面談	お家の方と面談をします。（希望者のみ）
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しみます。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いします。
	園外活動（買い物・お参り体験など）	年長・年中児のチャレンジ行事
2	節分集会	みんなで豆まきをします。
	保護者会総会	役員選出等の総会をします。
	ひな祭り会	みんなで桃の節句をお祝いします。
3	卒園式	年長児の卒園をお祝いします。
	お別れ遠足（ぞうくみ）	年長児がみんなで遠足を楽しみます。
	園内お別れ会	みんなで、ぞうくみの卒園をお祝いします。

・毎月の誕生会は、以上児と未満児に分かれて実施します。
・避難訓練（消火訓練、不審者訓練含む）を毎月行います。
・園バスを有効活用し、園外での活動を楽しみます。

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月１回（2 回に分けて）
厨房会議	月１回
チーフ会や主任・副主任会	必要に応じて
園内研究・研修会	研究推進チームの年間計画により、保育公開・実務研修等を開催

9. 研修計画

○園内研究・研修

・保護者や職員に対し、新法人理念、新保育理念、園目標などについて、周知徹底を図っていく。これまでの園内研究や研修を生かして、園としての振り返りを重ね、望ましい保育の在り方や園全体のスキルアップを進めていく。
・ｅラーニング等、ＷＥＢ研修を有効活用する。初任者や経験の浅い職員のために、基礎的な研修を随時行う。
・資料の事前渡しや予備学習などで、意見や考えをまとめておくことを確認する。どの職員も、最低一人１回は発言できるように、グルーピングや話し合い方も工夫する。分からないことを聞くことが恥ずかしいことではないという雰囲気と、新たな

気づきや学びを積極的に取り入れることが、一人一人の資質の向上につながることを意識させたい。

○園外研修

※必要に応じて、対面研修とＷＥＢ研修を組み合わせ、県外への出張も再開していく。姉妹園への職員派遣研修を計画的に進めていく。

月	一般の研修名 (処遇改善以外の研修)	処遇改善Ⅱ対象の研修名	内容
4	研究部会		
	園長等運営管理協議会		秋田県教育庁幼保推進課主催、国の動向や県の重点等の指示伝達
	幹事会		
5	研究部会		
		教頭・主任等研修会１	
	主任保育士部会		
	保健部会		
	人事考課研修①		法人研修（副主任出席）
6	幹事会		
	研究部会		
	子育て支援ネットワーク		中央地域の子育て支援担当者が集まり、年間計画、情報交換等を行う。
		ミニ学習会	
		新任保育士研修	
7	主任保育士部会		
	研究部会		
	保健部会		
8		乳幼児保育研修会	
	人事考課研修②		法人研修（副主任出席）
9 ・ 10	ごしょの保育園運動会		運動会見学
	山王幼稚園保育園運動会		運動会見学
	給食部会		
		主任保育士研修会	
	阿久和・西柴・上永谷西保育園運動会見学		運動会見学
	秋田市幼保小連絡協議会		
	幹事会		
	川尻小学習発表会		学習発表会見学
11		教頭・主任等研修会２	
	男性保育士部会		
	給食部会		
		学習会	
	主任部会		
	人事考課研修③		法人研修（副主任出席）
12	阿久和・西柴・上永谷西保育園発表会		各園の発表会見学
1		園長等研修会	
2	主任保育士部会		
	保健部会		
	給食部会		
3	ごしょの・阿久和・阿久和キッズ・西柴・上永谷西保育園卒園式		各園の卒園式見学

※ キャリアアップ研修の履修を重点として計画的に進めること、また、法人独自研修、秋田市保育協議会や保育士部会研修等は、ＷＥＢ研修も含めて積極的に参加することを推進する。　以上

令和 6 年 1 月 17 日

令和 6 年度
阿久和保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

法人理念、保育理念が一新され、今年度はその理念に向かって職員が同じ方向を向いて保育に邁進できることを願っている。一人ひとり異なる感性や個性を持った子どもたちを一人の人間として尊び、心身ともに健やかに育つことのできる環境の中で、人から十分に愛され、ありのままの自分でいることを認められ、幸せに暮らすことができるよう努め丁寧に保育していく。その保育を実現するために、保育の質の向上、職員の関係が良好であることが、最も重要だと考えているので、園長、主任、副主任を軸にして、保育の専門性を学ぶこと、そして、誰に対しても思いやりのある温かい阿久和保育園になる事を目指す。また、支援を必要としているご家庭に対して、また発達援助が必要な園児について、多方面の専門機関との連携を深め保育園の役割である、子ども子育て支援を充実させていきたい。

阿久和保育園はこれまで地域の子育て支援にも力を入れ、園庭や園舎開放、赤ちゃん教室、保育園の行事などに参加をして頂いている。新型コロナウイルス感染症の流行があり、園開放の縮小、自粛期間を経て参加者の減少が見られていたが、徐々に参加者数も増えてきている。保育園が地域の親子の安心できる居場所、また、交流の場である事を多くの方々に知っていただき、地域にとっても役割を果たせる保育園であることを継続していきたい。

業務の ICT 化は徐々に進んできているが、更に進めていくために、コドモンについて保護者へ丁寧に説明をし、不慣れな方にはサポート等を行い、コドモン活用に協力をして頂けるよう働きかけをしていきたい。

3. 重点施策

(1) 一人ひとりの子どもの人権を守る保育

子どもが現在を最もよく生き望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを願い、人との関わりの中で人に対する愛情と信頼感、そして人を大切にする心を育てる保育をするために深い愛情を持って子どもと向き合い優しく温かい保育をする。

(2) 保育をとことん語り合える職場風土作り

お互いを信頼し尊重し合うことを強く意識し、保育について語り合う事の喜びを感じられるような職員関係を構築する。子どもにとって良いとする保育を基本に考え、子どもの成長や保護者支援のためにどうすればよいかという視点で、保育園の全園児を全職員で見ていく意識を持つ。より良い保育園にするために人的環境が最も重要であることを全職員で認識し、誰に対しても思いやりのある発言や行動を心がける。

(3) ICT 活用の充実

新しい取り組みとして登降園打刻、連絡帳機能を導入するため、職員が使い方を理解し、慣れていくよう職員間で助け合って進めていく。また、活用にあたって、協力的でない保護者や、上手く活用できない保護者に対して、丁寧な説明や、協力依頼をしていく。

(4) 地域子育て支援の充実

コロナ禍を経て以前より参加者は少なくなっているが、令和 5 年度から「瀬谷区子育て応援ネット」に加入し、毎月発行されるイベントカレンダーへの掲載や、「瀬谷区地域子育て支援拠点にこてらす」と繋がりを持って、阿久和保育園での活動を広く知っていただき、支援を必要としている親子の拠り所となるよう活動していく。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
特に予定無し			

(2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
園庭テラス設置園児シューズ BOX	4 月	79,500 円	5 台	397,500 円	経年劣化、汚れ等あり
室内遊具 (組み合わせタイプ)	5 月	126,000 円 220,000 円	2 台	346,000 円	室内で体を動かして遊ぶ遊具が無い為

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児：安全が保障され安心して過ごせるよう十分に配慮された環境で、一人ひとりが大切に受け止められ、愛情に満ちた応答的な関わりによって、特定の大人との信頼関係を基盤に世界を広げていく。

1 歳児：愛されている、受け入れられているという安心できる環境の中で、身近な大人に自分の気持ちを表したり甘えたりすることが出来るようになる。
保育者を仲立ちとして生活やあそびの中で必要な言葉のやりとりを楽しんだり、自分の好きなことに夢中になったりして楽しむことができる。

2 歳児：安心できる保育者との関係のもとで、個々の意欲や気持ちを受け入れてもらい簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
興味のあることや経験した事などを、生活やあそびの中で、保育士と共に好きなように表現したり、友だちとのやり取りも楽しめるようになる。

⑵ 幼児保育部門

3 歳児：保育者や友だちと過ごしながら、他者の存在に気付き一緒に遊んだり、過ごすことの楽しさを知り、人との関わりが好きになる。
身体的な発達が促され十分に体を動かして遊ぶ心地良さを知る。また、好奇心や想像力を働かせて意欲的に自らの生活を自立していく。

4 歳児：友だちや保育士、身近な人に自分の思いを言葉や行動で表現しながら、他者を受容する気持ちが育つ。
友だちと繋がってやり取りをしたり、同じイメージの中でごっこ遊びやルールのある遊びを楽しんだり、集団で活動することを楽しめるようになる。

5 歳児：生活やあそびの中で達成感や充実感を味わう体験をし、目標に向かってともだちと力を合わせて活動する。また、関わりの中で起こる我慢する状況や様々な葛藤を乗り越え相手の立場に立って物事を考えたり判断したりできるようになる。
根気よく関わってくれる大人との関わりの中でやりたいことに自ら行動し、好奇心や探求心を育んでいく。

⑶ 給食部門

・アレルギー対応の実施
・離乳食の進め方について保護者、担任と共に計画し、離乳食提供の実施
・年間食育計画に基づいた取り組みの実施
・給食衛生管理マニュアルに基づいた安全安心な給食提供の実施
・調理員ミーティングの定期的な開催
・横浜姉妹園との調理員交流の実施

⑷ 地域交流、子育て支援部門

〇地域親子にとって心地良い居場所として、地域に根付き多様な支援を提供する。

「瀬谷区子育て応援ネットに加入し、活動日、内容等を広報し、多くの方に阿久和保育園の地域子育て支援を知っていただき参加者を多くしていく。

〈内容〉

・園舎開放

妊婦、0 歳児～1 歳 3 カ月…月 2 回（赤ちゃん教室）

栄養士による栄養相談や看護師による発達相談も計画的に行う。

1 歳 3 カ月～就学前の幼児…月 2 回

遊びや交流の場の提供、及び育児相談等も随時行う。

・火曜日園庭開放…月 4 回

園庭で遊びを提供したり、保護者同士の交流を促す。また、専門性を活かし、食育、生活、健康などの相談も随時行う。

・保育園の行事に合わせて地域の親子も参加して頂く

収穫体験、消防署合同避難訓練、ヤマト交通安全教室、ハロウィン、お楽しみ会、節分など

○多世代交流を積極的に行い、幅広い交流をしながら地域や、関わってくださる人、場所、行われている事などに深い関心が持てるよう働きかけていく。

〈内容〉

・幼保小連携…主に原小学校と年長クラスの交流を計画し交流する

・中学校―職業体験受け入れお兄さんお姉さんとの触れ合いを楽しんだり、中学生にも、保育の仕事を体験しながら知ってもらう。

・地域大人―地域老人施設との交流

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)　　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	6	6
1 歳児	6	9	15
2 歳児	12	3	15
3 歳児	16	1（阿久和キッズより）	17
4 歳児	16	0	16
5 歳児	15	1	16
合計	65	20	85

(2) 職員数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	16	0	1	1	1	0	20
嘱託職員	0	0	0	0	1	1	0	2
パート職員	0	2	4	1	0	0	1	8
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	2	0	0	0	0	2

7. 行事計画

月	名称	内容

4	入園、進級式	入園、進級を祝う日
	0、1、2 歳児クラス懇談会	一年間の保育の見通しやクラスの様子を保護者に伝えたり、保護者同士の交流を図る。
	たけのこ堀り	相澤様のたけのこ山をお借りし、たけのこ堀りを体験する。掘ったたけのこは園児が皮むきをし、給食に入れてもらい、食育に繋げる。
	4 月生まれの誕生会	4 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
5	子どもの日集会	こいのぼりを飾り、端午の節句の由来を知り祝う。
	3、4、5 歳児クラス懇談会	一年間の保育の見通しやクラスの様子を保護者に伝えたり、保護者同士の交流を図る。
	じゃがいも堀り	相澤様の畑をお借りし、じゃがいもの収穫体験をする。収穫したじゃがいもはクッキング保育で調理したり、給食に入れてもらい、食育に繋げる。
	5 月生まれの誕生会	5 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
6	お弁当遠足（お弁当は３、４、5 歳）	保護者に作っていただいたお弁当を持って出かけ、春の自然の中で遊び、戸外でお弁当を食べて楽しむ。
	園児内科検診	嘱託医による園児内科検診
	園児歯科検診	嘱託医による園児歯科検診
	6 月生まれの誕生会	6 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
7	親子ふれあいの会（０、１、2 歳）	乳児クラスの保護者に参加していただき、親子あそびを楽しむを楽しむ
	消防署合同避難訓練	消防署の方に来園していただき、避難訓練について指導を受けたり、安全な避難方法を学ぶ
	プール開き	プール遊びが始まる。プールあそびの約束を知る
	7 月生まれの誕生会	7 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
8	七夕集会	笹を飾り、七夕の由来を知る
	夏まつり	お祭りの雰囲気を味わう
	プールじまい	プールあそびが終わる日。水に親しんで遊べたことを称える
	8 月生まれの誕生会	8 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
9	9 月生まれの誕生会	9 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
10	運動会（３、４、5 歳）	自分なりの力を発揮し、日頃の運動あそびをともだちや親子で楽しむ
	さつま芋堀	土に触れさつま芋の収穫を喜ぶ
	お弁当遠足（お弁当は３、４、5 歳）	保護者に作っていただいたお弁当を持って遠足を楽しむ
	ヤマト交通安全教室	交通ルールを学ぶ。乗車体験を楽しむ。
	10 月生まれの誕生会	10 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
11	園児健康診断	嘱託医による園児内科検診
	園児歯科検診	嘱託医による園児歯科検診
	親子お楽しみ会（０、１、2 歳）	乳児クラスの保護者に参加していただき、親子あそびを楽しむ
	11 月生まれの誕生会	11 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
12	発表会（３、４、5 歳）	日頃のあそびの中から、歌や劇ごっこなどの表現あそびを楽しむ
	お楽しみ会	サンタクロースの登場を喜び交流する
	12 月生まれの誕生会	12 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
1	こども新年会	昔ながらの正月遊びを楽しむ
	資源物分別体験（3R 夢）	横浜市資源巡回局の方にゴミの分別を教えて頂く。
	1 月生まれの誕生会	1 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
2	節分	節分の由来を知り豆をまいて鬼を追い払う
	クラス懇談会	クラス毎、保育園での 1 年のこどもの成長を伝えたり、保護者同士の交流をする。保育園生活をお話ししながら進級について伝える

	2 月生まれの誕生会	2 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
3	ひなまつり集会	ひなまつりの由来を知り桃の節句を祝う
	お別れ遠足	5 歳児と散歩に出かけ一緒に楽しむ
	卒園児お別れ遠足	5 歳児が思い出作りの遠足をする
	お別れ会	「さくら組さんありがとう」の気持ちを伝え楽しいひと時を過ごす
	卒園式	年長児の卒園を保護者と職員とで祝う
	3 月生まれの誕生会	3 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。

8．各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議（給食会議を含む）	月 1 回
カリキュラム会議	月 1 回
アレルギー会議	月 1 回
乳児会議、幼児会議	月 1 回
リーダー会議	年 4 回

9．研修計画

月	一般の研修名 （処遇改善以外の研修）	処遇改善Ⅱ対象の研修名	内容
4	園内研修		嘔吐処理研修
5	園内研修（危機対応）		緊急時に必要な対応を学ぶ
6	園内研修（危機対応）		AED 操作訓練
		乳児保育分野研修	乳児保育の理解を深める
		幼児保育分野研修	幼児保育の理解を深める
7		障害児保育分野研修	障害児保育の理解を深める
		マネジメント研修	リーダーシップ能力を身につける
8		保護者支援子育て支援研修	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
		保険衛生・安全対策研修	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
		食育・アレルギー研修	食育やアレルギーの知識を深める
10	5 区合同研修		保育実技を習得する
	看護職研修		保育園での役割を理解する
11		マネジメント研修	リーダーシップ能力を身につける
		保険衛生・安全対策研修	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
	児童虐待防止研修		児童虐待への理解と虐待対応を学ぶ
	園内研修		感染予防対策と嘔吐処理方法を学ぶ
12	保育所児童保育要録研修		保育所要録の理解と記載方法を学ぶ
	異年齢保育研修		異年齢保育の実技を学ぶ
1		保護者支援子育て支援研修	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
	園内研修		保育改善検討
2	園内研修		保育改善検討
3	園内研修		保育改善検討

以上

令和６年１月１７日

令和６年度
西柴保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育所の経営
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
   令和 5 年度に施行されたこども基本法、令和 6 年度から新たにはじまる子どもまんなか社会に於いて西柴保育園の認可保育園として必要とされている役割、地域での役割、を職員全員が理解し合い必要とされている職責を学び合い実践していく。

3. 重点施策
   (1) 木育活動の充実
   昨年度、一昨年度から進めている木育活動について、今年度も 2 名の職員が秋田で開催される研修に参加し木育についての学びを深めながら、先ずは職員自身が木育に親しみ、木育を楽しむ体験をする。

   園内では幼児クラスを中心に、日常的な保育活動の中で、保育者を仲立ちとして、保育活動の中で木や自然に関わる事への興味関心を膨らませるための触れる、匂う、考える、創るなど体験を通じて、こども達の木育活動に広がっていくような仕組みを展開し、園児も保護者も巻き込んで一緒に楽しい体験ができる機会をつくる。

   (2) 木育による地域貢献
   園内で取り組んでいる木育活動を地域向けにも間口を開き少しずつ地域での西柴保育園の「木育活動」への認知度を上げていく。
   令和 6 年度から始まる「こどもまんなか社会」に於いて、木育を通じての、西柴におけるこども真ん中の取り組みを展開し、保護者と園、地域のこどもたちと園、地域の大人たちと園のとのつながりも深めていく。
   具体的には、前年度在園児向けに開催した「木育ひろば」的な物を地域の子育て家庭向け、地域の大人向けに開催していけるような計画実行するために準備をしていく。

   (3) チーム保育への意識

新たな職員を迎えあらたな年度を迎え、これまで西柴の乳児保育が大切にしてきたアタッチメント、幼児保育が大切にしてきた、異年齢の中で育つ豊かな子どもの自己肯定感につて、これまでの実践記録であるドキュメンテーションなどを見て頂きながら、新旧の保育者が、保育を語り合い、こどもたちにとっての利益を第一に進めていくという風潮を定着させる。

保育に携わる職員同士が、理解しあい、尊敬し合い、保育を語り合い、西柴がこころざす日々の丁寧な保育に楽しんで関わり、挑戦していけるような新たなチーム作りを進めていく。

(4)　生き残る園を目指すことへの模索

こども基本法の理解、10 年後にも木育を実践し生き残っている保護者に選ばれる園であるには…子どもの権利と尊厳を守り、アタッチメント、豊かなあそびと体験を大切に保育をとり進め、保護者の成長を支援し見守る役割を担える保育者を育成し、園の社会的役割を定着させていくための職員一人一人の学びを支援していく。

地域に受け入れられる木育を特色とした子どもがまんなかの保育の展開を模索する。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備（１０万円以上を対象）

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
可動式日よけ設置	5 月	見積依頼中	夏場の直射日光の防止及び、タープ設置、悪天候時の回収、天候回復後のタープ設置による職員の負担軽減のため
研修費	7 月	166,000 円	7 月秋田への木育研修２名参加の研修費用宿泊飛行機代を含む （1 名 50,000 円×名２） 7 月に更新される e ラーニング個人 ID 使用料（1 名 3,000 円×22 名）

※原則的には上半期中で完結する。

(2) 備品購入計画（一品または纏めて１０万円以上を対象）

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
幼児用木育玩具	5 月	200,000 円	一式	200,000 円	木育の展開
1 歳児室用木育環境ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	5 月	150,000 円	一式	150,000 円	1 歳児室の保育室の環境設定

※原則的には上半期中に完結する。

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

引き続き 0 歳児、1 歳児のアタッチメントを大切にした乳児期を安心して過ごせる保育環境づくりの継続。

乳児こころの安定を重視し、十分な心地良いかかわりをもち受容され甘える経験を重ねる保育を心がける。

0 歳児：落ち着いて安全な雰囲気の中で、一人一人の発達、発育に応じて離乳の完了、安定した歩行、保育者との信頼、愛着関係、友だちとの関係の基礎が育っていく。

1 歳児：愛情あふれる落ち着いた穏やかな環境の中で保育者に見守られながら、人・物に興味関心を持ち安心して関わりを広げる。
安心して大人に甘えることができる。

2 歳児：保育者の思いを受け留めてもらい安心できる環境の中で、興味関心を広げ関わろうとする。
安心して友だちや保育者とのやり取りを通じて、自分の思いを表現してみる。

(2) 幼児保育部門

保育者に見守られ、共感してもらいながら日々の生活なかでの、体験やなかまとの関わりを通じて、心身ともに育つ。

異年齢の造形や表現、木育活動、体を動かす等の日常の活動を通じ 1 人 1 人がじっくりと取り組む楽しさを十分に味わい集団としてもかかわりを楽しめる活動の機会を十分に体験する。

3 歳児：保育者やともだちと関わる中で、自分の気持ちを表出しひとり気持ちを受けとめてもらいながら、幼児クラスでの体験を通じ興味のあることや遊びを十分に楽しむ。
生活する中で少しずつ考える場面を経験し、我慢やルールがあることに気づいていく

4 歳児：身辺が自立し、友だちとの関わりを通して、自分の思いを言葉にし、目的を持って行動する経験を通して、心を豊かにしていく。
協調性が少しずつ育っていく、自意識が芽生え、人の気持ちを気にかけることが出来てくる。
仲間の中で役割を果たそうと頑張る力が育ち、話しを聞けるようになる。

5 歳児：仲間と経験する様々な活動を通して、仲間の意思も大切にしながら、考えや意見が異なっても折り合いをつける経験を通じて仲間と協力したり、工夫したり、考え、調べることの楽しさを実感する。
自分に自信をもち、仲間の違いを受け入れ、共に成長していく。

（3）給食部門

＜乳児期＞

ゆったりした環境の中で、保育者に関わってもらいながら、食事が安らぎの時間となるような関わりを土台とする。

＜3 歳以上児＞

食事準備に関わる機会を設け、各々に応じて適切に声かけや介助を行い、食行動の自立を促す。また、食への関心が大きくなり、食事の時間が楽しいものとなるよう、食育活動を行う。

・食育年間計画の共有
・なかよし給食の実施
・アレルギー対応についての情報共有
・保護者向け食育情報提供(献立表・食育だより・写真掲示・ブログ)
・地域への食育情報の発信
・郷土料理献立の提供、各地の情報提供
・各年齢に応じた食育活動の計画、実施

（4）その他の部門

〇地域交流部門：公園愛護会の方々との公園清掃、花壇の整備、焼き芋の会、お正月あそびの会、西柴夕涼み会（町内の夏祭り）
・地域の保育園との交流（5 歳中心、ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ参加、ｷﾗｷﾗﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ参加）
・幼稚園と地域の幼稚園の運動会見学・公園での交流保育
・小学校と西柴小学校との幼保小連携推進事業としての連携
・小学校給食体験・
・小学校運動会見学・学校体験（ランドセル・教科書・図書室）
・金沢区の行政主催のイベント「いきいきフェスタ」への参加

〇子育て支援部門：
・育児講座（年 4～6 回、金沢区中部地区社会福祉協議会との共同事業を予定、園栄養士による離乳食のお教室、地域の方々との木育活動自然物を利用した手作りのおもちゃのワークショップ・リトミック等）
・地域の未就園児との交流の充実（誕生会他園行事への参加のお誘い、園庭開放交流保育いっしょにあそぼう）
・パパ先生・ママ先生の保育園士体験

〇一時保育部門：これまでの事業を継続し最大施設内で、3 名迄の一時保育を受け入れを実施していく（園内の事情を最優先し、無理のない範囲内での受け入れを行う）。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児		6	6
1 歳児	6	7	１３
2 歳児	１３	0	１３
3 歳児	１３	0	１３
4 歳児	１３	1	１４
5 歳児	１３	0	１３
合計	５８	１４	７２

(2) 職員数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	１４	0	2	0	1	0	１８
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	4	2	0	1	0	1	8
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	1	0	0	0	0	1

7．行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う会	入園・進級を共に喜び合う会
	懇談会（2，3，4，5 歳児）	クラス担任による懇談会
	誕生会	4 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
5	こどもの日の会	こども達の健やかな成長と発達を願う会
	懇談会（0，1 歳児）	クラス担任による懇談会
	誕生会	5 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
	茶道教室（すみれ）	外部講師による茶道教室年長クラス
	春の健康診断	園医による春の定例園児健康診断
6	誕生会	６月生まれのこども達の誕生会
	土砂災害想定避難訓練	土砂災害想定の避難訓練
	乳児クラス親子ふれあい遊びつどい	乳児クラス親子ふれあい遊びの集い
	茶道教室（すみれ）	外部講師による茶道教室年長クラス
7	七夕	七夕を祝う会
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
	茶道教室（すみれ）	外部講師による茶道教室年長クラス
	誕生会	７月生まれのこども達の誕生会
8	すいかわり	スイカ割り体験
	おまつりごっこ	こども達によるなつまつり
	避難訓練	月 1 回の避難訓練

	茶道教室（すみれ）	外部講師による茶道教室年長クラス
	誕生会	８月生まれのこども達の誕生会
	地域の盆踊り	地域のおまつりへの盆踊り参加
9	避難訓練	月１回の避難訓練
	茶道教室（すみれ）	外部講師による茶道教室年長クラス
	誕生会	９月生まれのこども達の誕生会
10	誕生会	10 月生まれのこども達の誕生会
	茶道教室（すみれ）	外部講師による茶道教室年長クラス
	うんどうかい	幼児中心の運動会
	避難訓練	月１回の避難訓練
11	やきいも会	地域の老人会の方のご協力でのやきいもづくり
	避難訓練	月１回の避難訓練
	誕生会	11 月生まれのこども達の誕生会
	茶道教室	外部講師による茶道教室年長クラス
12	おたのしみ会	年間を通じての表現遊び、劇あそびの発表会
	歯科検診	定期的な健診
	クリスマス会	クリスマスをみなで祝う
	誕生会	12 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	月１回の避難訓練
1	新年の集い	祖父母とともにお正月あそびを楽しむ
	誕生会	１月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	月１回の避難訓練
2	作品展	こども達の作品を展示し保護者が鑑賞する。
	誕生会	２月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	月１回の避難訓練
3	誕生会	３月生まれのこども達の誕生会
	ひなまつり	ひなまつりを祝う
	避難訓練	月１回の避難訓練

8．各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月 1
カリキュラム会議	月 1
乳児会議	必要に応じて
幼児会議	必要に応じて
給食会議	月 1
ｱﾚﾙｷﾞｰ会議	月 1
木育会議	必要に応じて
業務改善プロジェクト	年度 2 回（6 月・12 月）

9．研修計画

月	一般の研修名 （処遇改善以外の研修）	処遇改善Ⅱ対象の研修名	内容
4	園内研修		安全保育について
	新人研修		横浜市
5	園内研修		ﾄﾞｷｭﾒﾝﾃｰｼｮﾝ記録について
		乳児保育	
		障がい児保育	
	法人研修		人事評価
	法人研修		コミュニケーションについて
6	園内研修		安全保育夏
		幼児保育	
		マネジメント	
7	園内研修		救命救急訓練
		アレルギー研修	
	発達障害児保育支援者 育成研修		横浜市
	秋田木育研修		木育に関する外部への研修参加
	法人研修		メンタルヘルス
8	園内研修		危機管理Ⅰ
		幼児保育	横浜市
	法人研修		
9	園内研修		危機管理Ⅱ
		乳児保育	
	異年齢保育研修		横浜市
10	園内研修		チーム保育について振り返り
		マネジメント	横浜市
11	園内研修		人権について
	法人研修		コミュニケーション研修
	法人研修		人事評価について
12	食物アレルギー対応 マニュアル研修		横浜市主催
	園内研修		
1	園内研修		施設の自己評価について
2	園内研修リーダー研修		横浜市主催
	教師のための ワークショップ造形		横浜市主催
	乳幼児保健研修		横浜市主催
		保健衛生・安全管理	
3	園内研修		エピペン・アレルギー研修
	保育教育理念講座		横浜市主催
	小児医療研修		横浜市主催
	看護職等研修		横浜市主催

以上

令和６年１月１７日

令和６年度
上永谷西保育園 事業計画

1. 事業内容
・保育事業　・一時預かり事業　・延長保育事業　・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
令和５年度は職員の体制により定員を調整し新年度をスタートすることとなるが、職員間で連携を取りそれぞれが責任感を持ち業務を遂行することで安定した保育が提供できた。
しかし法人が力を注いでいる研修においては時間の確保が難しく全体での取り組む時間が殆ど持つことができなかった。次年度は中長期計画に位置付けている人財育成に引き続き注力し、職員はスキルアップのためキャリアアップ研修、各分野の学びを深め専門性を高めていけるよう、e ラーニング等などの視聴できる環境を整えていく。
今年度も、子どもの最善の利益を基に行事や、日常の保育の見直しを行ってきた。職員全体で子どもの最善の利益をもとに丁寧な保育の提供が行えたと思う。日々の中で「保育に携るプロ」として振り返りを行い、また心に余裕が持てるよう、時間の確保が必要でもあると感じる。更に職場環境を整えていけるよう、問題点を把握し改善する為には何が必要で、どのような働きかけが必要か全職員で検討していく。

育児支援については地域におけるニーズが少ないが、引き続き地域の保護者が必要とする支援を整理し充実した内容を提供できるよう努めていきたい。

子どもを取り巻く災害や事故、事件に備え防災、防犯機能の更なる強化を目的として公的機関と連携した防災、防犯訓練の実施、職員全体で子どもの命を守るべく意識の向上に努め、安心安全に保育が行える環境作りは引き続き常に行う。

3. 重点施策
(1) 職員の業務負担軽減、保護者支援
ICT 導入後、職員の業務に掛かる負担は軽減されたが、日々の中で実感できることが少ないように思う。内容を見直し、更に活用の幅を広げ業務の効率を上げ、心にゆとりが持てるよう改善していきたい。
また、６年度より導入するオムツのサブスクにおいては、保護者の負担軽減は勿論職員の業務軽減にも繋がると期待している。

(2) 園内研修、外部スキルアップ研修を通して保育の質の向上を目指す

園内研修を充実させ、また職員各々が学びたいと思う単元を学べる時間の確保、また学びを基に話し合える関係性を構築し質の向上につながるよう進めていきたい。

(3) 地域子育て支援の核となる活動を展開する

地域の子育ての拠点としての機能をお子様への園庭開放、育児講座や親子で参加できるイベントを計画し、育児に関する情報提供や育児相談を行う。一時保育のニーズに応じて受け入れ態勢を整え昨年度より一時保育の利用規定の変更により利用しやすくなったことを地域の方へお伝えし、地域の子育てのサポートを積極的に行う。

(4) 安心安全の保育の実践

衛生管理、環境の見直し、リスクマネジメントの徹底等、多方面から「安心安全な保育とは何か」を常に考え前向きに取り組みながら、保護者には安心感を持ってもらえるよう、子ども達にとっても安心できる環境、楽しい保育を提供できるよう実践していく。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備（１０万円以上を対象）

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
砂場遮光屋根	６月	230,000 円	熱中症対策として

(2) 備品購入計画（一品または纏めて１０万円以上を対象）

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
三輪車 (コンビカー含む)	５月	10,000 円	10 台	100,000 円	劣化している為
園庭遊具 (滑り台)	１０月	360,000 円	1	360,000 円	遊具補充の為

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児：

・個人差に応じた生理的欲求を満たし、快適に生活できるようにする。

・一人ひとりの発達を理解し、個々に応じた保を行う。

・衛生的で安全な環境で、個々の生活リズムを大切にし基本的生活習慣を身に付ける。

1 歳児：

・様々な経験や探索活動の中から言葉を獲得できるようにする。
・安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが育めるようにする。
・生活リズムが安定し、食事・排泄・着替えなど、生活習慣の自立の芽生えを育てる。

2 歳児：

・安全に注意し、友達との関りを大切にすると共に、自分で出来る事を増やしていけるようにする。
・自然に親しみ、様々な遊びや体験を通して、色々な物への好奇心や興味を持てるようにする。
・言葉で表現する喜びを味わえるようにする。

(2) 幼児保育部門

3 歳児：

・保育士や周りにいる大人たちとの信頼関係の下、生活に必要な基本的習慣や態度を身につける。
・四季を通して、目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝えあったりするなど自然を通して主体的に学ぶ。

4 歳児：

・集団生活における約束や社会のルールの大切さを知り、守ろうとしながら生活していけるようにする。
・様々な経験からできた喜びを持てる環境を作る。
・活動のイメージを膨らませ、見通しを持って取り組めるようにする。
・十分に体を動かす環境作りを心掛ける。

5 歳児：

・友達と協力して目標に向かって取り組み、やり遂げる達成感や充実感を味わえるようにする。
・基本的生活習慣の確立を目指す。
・就学に向けて、必要な生活習慣を身に付けられるようにする。
・自分の良さに気付き自分に自信を持てるようにする。

(3) 給食部門

・離乳食の取り組みを丁寧に行い、個々に合った対応を保護者と連携し行う。
・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
・栄養士間の連携の下、給食提供時間の厳守、献立内容の工夫の実施
・アレルギー対応の実施
・食育活動を計画、実施し経験することで子どもが感じる感性を育む。

(4) その他の部門

【支援児（障害児）支援】

・個々に応じた対応を丁寧に行い、愛されている心地良さ、友達との関りの中での成長を見逃すことなく保護者と共感し協力し合う関係性を築く。

【地域子育て支援】

・一時保育の受け入れや定着を行い子育て支援を行う。

・地域の親子がゆっくり憩える、相談や環境を作り

【地域交流】

・幼保小交流を初め近隣の小学校との交流を行い年長児がスムーズに就学できるように架け橋を行う。

・近隣の保育園との交流に積極的に参加し良好な関係性を築く。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和６年４月１日の見込み数)　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	3	3
1 歳児	3	12	15
2 歳児	15	0	15
3 歳児	14	2	16
4 歳児	15	1	16
5 歳児	16	0	16
合計	63	18	81

(2) 職員数(令和　6 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	14	0	3	0	1	1	20
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
パート職員	0	8	2	0	0	0	0	10
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0

7. 行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級の日	クラスごとに集い入園・進級を祝う
	クラス別懇談会（３・４・５歳）	年間の保育のねらいや予定、子どもの姿等伝え、保護者の交流を図る
	育児講座「こいのぼり作り」	地域の方を対象に保育士による制作の講座
5	幼児バス遠足	バスに乗って園外保育を楽しむ
	クラス懇談会（１・２歳）	年間の保育のねらいや予定、子どもの姿等伝え、保護者の交流を図る
	ジャガイモ掘り	栽培したジャガイモの収穫体験
	園児内科健診	嘱託医による内科健診
	尿検査	３・４・５歳児対象に実施

6	プール・水遊び開き	注意事項を確認しプール・水遊びを楽しむ
	園児歯科検診	嘱託歯科医による歯科検診
	巡回訪問（港南療育センター）	保育の見学及び個別相談
7	七夕集会	七夕の由来を知り季節の行事を楽しむ
	交流保育「七夕」	地域の方を対象に七夕集会を楽しむ
	交流保育「水遊び」	地域の方を対象に水遊びを楽しむ
8	スイカ割り	スイカ割りを体験する
	夏祭り	年長児が縁日を開き、夏祭りを楽しむ
9	防災訓練	保護者引き取り訓練の実施
	プール・水遊びじまい	使用した玩具を洗い、プール・水遊びを終わる
10	園児内科健診	嘱託医による内科健診
	運動会	日頃行っている運動遊びを披露する
	交流保育「運動遊び」	地域の方を対象に、乳児クラスと運動遊びを楽しむ
	サツマイモ掘り	栽培したサツマイモを収穫し、調理体験し味わう
	ハロウィン	秋の収穫をお祝いし、ハロウィンを楽しむ
11	幼児バス遠足	バスに乗って園外保育を楽しむ
	園児歯科検診	嘱託歯科医による歯科検診
	合同防災訓練	消防署との合同訓練、煙体験ハウスや水消火器、消防服の試着等を体験
	保育参観・保育参加（乳児クラス）	保護者を招いて日頃の保育に参観・参加してもらう
	交通安全教室	ヤマト運輸による交通安全教室
12	育児講座「リース作り」	地域の方を対象に保育士によるリース作りの講座
	生活発表会（幼児クラス）	日頃行っている表現あそびを披露する
	クリスマス会	クリスマスを祝い、パーティーを楽しむ
	視聴覚検査	３歳児対象に横浜市の検査を実施
1	お正月遊び	新年を祝い、お正月ならではの遊びを体験し楽しむ
	交流保育「お正月遊び」	地域の方を対象にお正月遊びを楽しむ
	交通安全教室	交通局港南営業所による交通安全教室、バス見学
	クラス別懇談会（５歳）	スライドショーを使用した子どもの姿や活動報告 保護者の交流を図る
	巡回訪問（港南療育センター）	保育の見学及び個別相談
2	節分集会	節分の由来を知り、伝統行事を楽しむ
	交流保育「節分」	地域の方を対象に節分集会を楽しむ
	クラス別懇談会（１～４歳）	スライドショーを使用した子どもの姿や活動報告 保護者の交流を図る
	バスドライブ（１・２歳）	バスに乗って近隣ドライブを楽しむ
3	ひな祭り集会	季節の伝統行事を楽しむ
	お別れ遠足（幼児クラス）	お弁当を持ってバスに乗り園外保育を楽しむ
	お別れ会	４歳児クラスが中心となり、年長児の卒園を祝う
	卒園式	年長児クラスの卒園と保護者と祝う
毎月	誕生会	各月の誕生児を祝う
	避難訓練	月１回の避難訓練

8．各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月１回
カリキュラム会議	月１回
乳児会議	月２回
幼児会議	月２回
クラス会議	必要に応じて
リーダー会議	月２回
アレルギー会議	月１回
アルバイト会議	月２回

9．研修計画

月	一般の研修名 (処遇改善以外の研修)	処遇改善Ⅱ対象の研修名	内容
4	新人研修		・新入職員対象
	園内研修		・事故防止①(安全点検・戸外遊び) ・アレルギー対応 ・記録、書類の書き方　等
5	園内研修		・マニュアル関係　・夏の感染症 ・応急処置、緊急時対応　　等
	こども青少年局		・ミドルリーダー研修
	法人職員研修		・コミュニケーション研修
6	園内研修		・事故防止②(水遊び・虫刺され) ・救命救急　・心肺蘇生 ・保護者対応　　等
		こども青少年局 キャリアアップ研修	・マネジメント研修 ・乳児保育分野
	港南区保育・教育施設 職員研修		・乳幼児健診見学体験 ・乳児わらべ歌
7		こども青少年局 キャリアアップ研修	・幼児保育分野 ・障害児保育分野
	法人職員研修		・メンタルヘルス研修
	こども青少年局		・ファシリテーション研修
8	こども青少年局		・障害児保育講座
	港南地域療育センター		・子どもの発達障害
9	こども青少年局		・障害児保育講座 ・看護職等研修・乳幼児保健研修 ・子育て支援研修
	港南区保育教育施設職員研修		・乳児保育
10	こども青少年局		・コミュニケーション研修 ・障害児保育講座 ・衛生管理講習会
11		こども青少年局 キャリアアップ研修	・障害児保育分野 ・食育・アレルギー対応分野
	法人職員研修		・コミュニケーション研修
	こども青少年局		・食物アレルギー講習会
	園内研修		・冬の感染症　　等
	港南区幼保小教育交流事業		・健やか子育て後援会
12		こども青少年局 キャリアアップ研修	・保健衛生・安全対策分野 ・保護者支援・子育て支援分野
	こども青少年局		・保育所における自己評価ガイドライン研修 ・乳児・幼児保育研修 ・リスクマネジメント研修
	横浜私立園長会		・感情マネジメントとレジリエンスへの影響
	園内研修		・事故防止③(冬の戸外遊び)
1		こども青少年局 キャリアアップ研修	・マネジメント研修
	こども青少年局		・子どもの人権に配慮した保育研修 ・児童虐待防止研修
	園内研修		・保育の改善検討① (問題点・課題の発見・共有)
2	園内研修		・保育の改善検討② (改善事項の確認、内容の検討)
	港南区幼保小教育交流事業		・保育要録について
	こども青少年局		・小児医療研修
3	園内研修		・保育の改善検討③ (関係マニュアル・改善点の共有)

以上

令和 6 年 1 月 17 日

令和 6 年度
阿久和キッズ 事業計画

1. 事業内容
   ・小規模保育事業
   ・延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

昨年 5 月にコロナが 5 類となり、ようやく日常が戻ってきた中、令和 5 年度は園児 19 名、職員 3 名を迎え万全な体制でスタートした。リーダーは置かず、園長を軸として、各職員とその都度話をしながら保育に取り組んだ。玄関ドアに電子錠を設置し、よりセキュリティーの部分でも安全性を強化することができた。

令和 6 年度はリーダーと保育について十分に話し合い、同じ方向を向いて子ども主体の保育を進めていく。ノンコンタクトタイムを設け各担任が保育から離れて、クラスの現状や環境整備、保育の進め方についてじっくり話し合う時間を作るようにしているので引き続き行っていく。また、地域支援、育児支援という観点からも阿久和キッズとしてできることを職員と協力して行っていきたい。

「ふれあいの中で心豊かに育ちあうこどもたち」を目標とし、ひとりひとりの子どもとの愛着を大切に丁寧に関わり、保育を語り合える仲間とお互いを尊重しながら協力して保育をしていく。

3. 重点施策

(1) 乳児保育の質の向上

・一人ひとりの発達や個性、興味、関心を大切にし、愛着関係を築きながら保育をしていく。
・研修、e ラーニングを活用して職員同士共通理解を深め、乳児保育のスペシャリストとなれるよう努力する。
・ノンコンタクトタイムを活用し、保育士同士語り合い、保育の質の向上を目指す。

(2) 職員間の連携と協力

・日常の保育について語り合えるチーム作り。
・やる気が向上し、保育士自身がわくわくするような保育環境を作る。

(3)　地域で必要とされる園

・少子化が進む中で、地域交流や子育て支援、姉妹園や連携園との交流などを通して地域で必要とされる園を目指す。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備（10 万円以上を対象）

案件名	時期	工事・設置金額	理由
特になし			

(2) 備品購入計画（一品または纏めて 10 万円以上を対象）

備品名	時期	単価	数量	金額	理由
特になし					

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

★0 歳児・清潔で安全な環境の中で、保育者の愛情豊かな応答的な関わりを通して愛着関係を築いていく。

・明るく、穏やかな落ち着いた環境の中で、のびのびと過ごす。

★1 歳児・安心できる環境の中で、一人ひとりの発達や個性を尊重しながら信頼関係を築いていく。

・保育者を仲立ちとして、周りの友だちに興味、関心を示しお互いに成長できるようにする。

★2 歳児・安心できる環境の中で、保育者に見守られながら興味、関心を広げ自分で行ってみようと挑戦していく。

・自分の思いや要求を言葉や態度で表せるようになり、要求を満たしてもらいながら、楽しむ。

(2) 給食部門

・安全な給食提供の実施

・離乳食の取り組みを丁寧に行い、ひとりひとりにあった対応をしながら、保護者と連携して提供していく。

・アレルギー対応を確実に行う。

・懇談会での試食の提供。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	4	4
1 歳児	5	2	7
2 歳児	8	0	8
合計	13	6	19

(2) 職員数(令和 6 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	6 (産休含)	0	0	0	0	0	7
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
パート職員	0	2	0	1	1	0	0	4
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0

7. 行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う	新入園児、進級児を祝う
	4 月生まれ誕生会	4 月生まれの子の誕生会
	避難訓練	月 1 回避難訓練
5	こどもの日の会	子どもの健やかな成長を祝う
	5 月生まれ誕生会	5 月生まれの子の誕生会
	懇談会	1 年間の保育の見通しやクラスの様子を伝える。保護者同士の親睦を図る。
	避難訓練	月 1 回避難訓練
6	内科検診	内科検診
	歯科健診	園医による歯科健診
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
	6 月生まれの誕生会	6 月生まれの子の誕生会
7	じゃがいも掘り	2 歳児クラス、バスに乗ってじゃがいも掘りに行く
	七夕の会	七夕について知り、笹飾りを披露しあう
	7 月生まれ誕生会	7 月生まれの子の誕生会
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
8	すいかわり	すいかわりを体験し、楽しむ
	水あそび	安全に水に親しむ
	8 月生まれ誕生会	8 月生まれの子の誕生会
	避難訓練	月 1 回の避難訓練

9	水あそび終了	
	9 月生まれ誕生会	9 月生まれの子の誕生会
	避難訓練・引き取り訓練	防災訓練・引き取り訓練
10	さつまいも掘り	2 歳児クラス、バスに乗って、さつまいも掘りを体験する。
	10 月生まれ誕生会	10 月生まれの子の誕生会
	ハロウィーン	秋の収穫をお祝いし、ハロウィーンパーティーを楽しむ
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
11	内科検診	園医による検診
	歯科健診	園医による健診
	11 月生まれ誕生会	11 月生まれの子の誕生会
	バスに乗って散歩	バスに乗って秋の自然に親しみ散歩を楽しむ
12	親子であそぼう会	お家の方と一緒に楽しむ
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
	12 月生まれ誕生会	12 月生まれの子の誕生会
	クリスマス会	サンタクロースの登場を楽しみにし、クリスマスを楽しむ。
1	こども新年会	新しい年をみんなでお祝いする
	1 月生まれ誕生会	1 月生まれの子の誕生会
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
2	節分の会	豆まきをして鬼を追い払い、福をたくさん呼ぶ
	2 月生まれ誕生会	2 月生まれの子の誕生会
	懇談会	1 年間の成長を保護者と共に語り合う
	避難訓練	月 1 回の避難訓練
3	ひなまつりの会	ひなまつりの由来を聞き、桃の節句をお祝いする
	お別れ遠足	みんなで散歩を楽しみ、お弁当を食べる
	3 月生まれ誕生会	3 月生まれの子の誕生会
	卒園式 避難訓練	2 歳児の卒園をお祝いする 月 1 回の避難訓練

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月 1 回
カリキュラム会議	月 1 回
献立確認会	月 1 回
ミーティング	毎日 13:00～

9. 研修計画

月	一般の研修名 （処遇改善以外の研修）	処遇改善Ⅱ対象の研修名	内容
4	園内研修		法人理念・保育理念・園目標
			全体的な計画について
			アレルギー対応について
5	園内研修		AED・救急対応
			防火・防災訓練
	瀬谷区施設長会		他施設との情報共有

	園長、施設長講座		
6		乳児保育研修（全 5 回）	キャリアアップ研修
	食品衛生講習会		
	園内研修		嘔吐処理研修
7		保健衛生・安全対策（全 5 回）	キャリアアップ研修
		障害児保育研修（全 5 回）	キャリアアップ研修
	園内研修		水遊び等安全対策
8	自己評価ガイドライン		保育所の自己評価について
	保育実践		実践に向けたリズム、手遊び、製作
9	園内研修		人権について
		主任保育士研修（全 5 回）	キャリアアップ研修
		保護者対応研修（全 5 回）	キャリアアップ研修
		保護者支援、子育て支援	キャリアアップ研修
10	園内研修		不適切な保育・安全について
		マネージメント研修（全 5 回）	キャリアアップ研修
	瀬谷区施設長会		他施設との情報共有
11	園内研修		事故防止研修
	インクルーシブ保育講座		健常児も障害児も共に育ついて
12	よこはま保育、教育宣言		よこはま保育、教育宣言について
	園内研修		横浜保育・教育宣言研修
1	園内研修		AED・嘔吐処理研修
	食育研修会		安全な給食の提供について
2	園内研修		施設の自己評価について
	瀬谷区施設長会		他施設との情報共有
3	園内研修		来年度に向けて改善検討

以上